



# 和歌山県報

発行 和歌山県  
和歌山市小松原通一丁目1番地  
毎週火、金曜日発行

## 目次

(取扱課室名) ページ

### ○ 告示

1126 さんご漁業の許可又は起業の認可をする数の最高限度及び許可又は起業の認可の申請をすべき期間 (資源管理課)..... 1

### ○ 海区漁業調整委員会指示

7 ひき縄釣による水産動物の採捕 ..... 1

## 告 示

### 和歌山県告示第1126号

和歌山県漁業調整規則（平成17年和歌山県規則第67号）第25条第1項の規定により、さんご漁業の許可又は起業の認可をする数の最高限度を1（うち、さんご潜水艇又はさんご網を用いるもの1。その他の方法によるもの0。）と定め、同規則第8条第2項の規定により、漁業の許可又は起業の認可の申請をすべき期間を平成27年10月1日から同月15日までと定めたので、同規則第25条第4項及び第8条第3項（同規則第21条第3項において準用する場合を含む。）の規定により告示する。

平成27年10月1日

和歌山県知事 仁坂吉伸

## 海区漁業調整委員会指示

### 和歌山海区漁業調整委員会指示第7号

漁業法（昭和24年法律第267号）第67条第1項の規定に基づき、和歌山海区におけるひき縄釣による水産動物の採捕について、次のとおり指示する。

平成27年10月1日

和歌山海区漁業調整委員会会長 榎本秀春

#### 1 定義

この指示において「ひき縄釣」とは、釣糸及び釣針を有する漁具を船舶によってひきまわして行う釣漁法をいう。

#### 2 採捕の承認

ひき縄釣により水産動物の採捕をしようとする者（以下「採捕者」という。）又はトローリング大会等を開催して水産動物を採捕させようとする者（以下「主催者」という。）は、和歌山海区漁業調整委員会（以下「委員会」という。）の承認を受けなければならない。ただし、次のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

(1) 漁業者が漁業を営むために採捕する場合又は漁業従事者が漁業者のために従事して採捕する場合

(2) 試験研究のために採捕する場合

(3) 和歌山県漁業調整規則（平成17年和歌山県規則第67号）第46条第1項に規定する許可に基づき、採捕従事者が採捕する場合

#### 3 承認の基準

委員会は、原則として次に掲げる条件を全て満たす場合に採捕を承認することとする。

(1) 和歌山県に所在する漁港等の根拠地から出発し、その日の日没までに採捕を終えて同根拠地に帰港

する採捕計画であること。

- (2) 根拠地及び採捕区域における海面の利用について、利害関係がある漁業協同組合の同意を得ていること。
- (3) 同一の採捕者による採捕期間が、連続5日以内であること。
- (4) 採捕しようとする水産動物の種類が、当該資源の保護培養上及び当該資源を利用する漁業との調整上において支障がなく、適当であること。

4 制限又は条件

(1) 法令等を遵守させる義務

採捕者は、漁業法及び和歌山県漁業調整規則等の水産関係法令を遵守しなければならない。主催者は、関係する採捕者に対して当該遵守義務を指導しなければならない。

(2) 標旗の掲揚

採捕に使用する船舶に、委員会が指定する標旗を掲げなければならない。

(3) 採捕実績の報告

承認を受けた採捕者又は主催者は、採捕終了後、採捕実績を委員会に報告しなければならない。

(4) 漁業者の操業妨害禁止

採捕者は、漁業者の操業を妨げてはならない。主催者は、関係する採捕者に対して漁業者の操業を妨げないよう指導しなければならない。

(5) 承認の取消し

委員会は、水産資源の保護培養又は漁業調整上必要があると認めるときは、承認を取り消すことがある。

(6) その他の制限又は条件

その他委員会が必要があると認めるときは、更に制限又は条件を付することがある。

5 取扱要領

この指示に定めるもののほか、採捕の承認等に関する取扱いについては、ひき縄釣採捕承認事務取扱要領に定める。

6 指示の有効期間

平成27年10月1日から平成29年9月30日まで